

【1】全体評価

大分県企業局における経営戦略アクションプランの取組については、おおむね計画に沿って実施されていると評価。

戦略の柱Ⅰの効率的効果的な経営の実現については、まず1に、技術力や専門知識習得のための研修に励み、技術職員の資格取得の奨励、支援を行い、人材育成面での成果を上げることができている。2業務の効率化の面については、平成30年から取り組んできた工業用水の管路台帳システムを完成させると共に、保存技術の習得を進めることができています。3コスト削減や業務改善の面については、建設改良費の削減率は時によって差はあるが、おおむね目標を達成することができた。また、アイデアコンテストによる提案に基づく業務改善についても取り組むことができています。4広報活動については、新型コロナウイルスの影響により、施設見学等については目標どおりにはいかなかったものの、動画サイトやTwitter等、新たなツールの導入によってそれを補うことができています。5電力システム改革への対応については、課題解決に向けて企業局にとって有利な条件となるよう情報交換や協議が行われている。6工業用水において、顧客本位の視点から支払い猶予の設定や被災したユーザーの使用料を減額する等の取組が行われている。

今後の要望として、資格取得について資格ごとに見ると、保有者の必要人員に対して現状の資格保有者の人数にバラツキがあるため、企業局の業務遂行上の必要性に応じた各資格取得数の目標数を定めることも検討願いたい。

新規事業に関しては、過去において、送電システムの接続に多額の費用負担が生じること等により断念した経緯がある。ウクライナ情勢等、大きな外部環境の変化が生じていることから、国のエネルギー政策の動き等について、諸条件の変化に伴うビジネスチャンスについては絶えず着目しておいていただきたい。

新規の取組というのは組織の活性化にとって非常に重要であることから、新たな取組について検討する努力は怠らないでいただきたい。多くの県で市町村やNPOとかが行う小水力発電導入のための技術的支援を公営電気事業者が行っている。市町村等が再生可能エネルギーを導入する際に、相談対応とか技術的助言、開発計画の策定支援等、お金のかからない新規事業等もご検討願いたい。

アセットマネジメントシステムについてその精度向上が図られている。アセットマネジメントシステムということ自体というよりは、それを使って、どう計画を作成し計画に反映させて実行に移すかということが最も重要なので、十分な反映をお願いしたい。

また、電力供給に関する契約や送電線の取扱いに関する協議については、企業局にとって少しでも有利な内容となるよう、引き続き強い交渉力を発揮していただきたい。

戦略の柱Ⅱ、安定的なサービスの提供では、1危機管理体制については、コロナ禍においても各種訓練を誠実に計画通りに行い、また、地震の際の工業用水に関する漏水発生時においても、訓練を踏まえて関係ユーザーへの連絡や早期の復旧を実現した。2発電所のリニューアルについては大野川発電所を無事終了させ、営業運転を再開したほか、別府・芹川についても、現在、工事が順調に推移している。3電気事業の地震対策については、リニューアル事業との調整を行いつつ目標を達成している。4発電所のオーバーホール工事については、他事業との絡みで、一部工事の見送りがあったものの、おおむね目標は達成されている。5工業用水事業については、隧道点検を計画的に実施し、補修が必要な部分について、施工可能な機会を捉えて計画的に実施することができています。6工業用水の地震対策等については、豪雨災害復旧のための施工業者の技術者不足に伴って、一部、入札不調による計画変更を余儀なくされたものの、耐震化率は目標をクリアし、確実に成果を上げることができています。7管路の調査補修についてはスケジュールの前後はあったが、最終的には計画通り実施できています。8工業用水の安定した給水体制を確保するための濁水取水対策の実施については、地震に伴う漏トラブルはあったものの、ユーザーへの影響を軽微にとどめることができ、期間を通じて安定した給水体制を維持することができた。

今後は、企業局の行う事業は、大規模施設に基づく装置産業に属している。施設では装置の更新、維持管理コストが膨大であるためにこれらをいかに抑えて機能を維持していくかというのが最も重要な経営課題の一つということが言える。アセットマネジメントに基づく計画的な修繕、オーバーホールやリニューアルに伴う設備の停止期間を限りなく少なくして、その間の収入の減少を最小限にするための工程管理、やビッグデータを活用した状態監視保全という考え方を取り入れた保全会議、検討等について、経営戦略アクションプランの中でも特に優先順位の高い課題として取り組んでいただきたい。収益を獲得することも重要であるが、施設設備にかかるコストをうまくコントロールして抑えることも技術部門の手腕が問われるところなのでよろしくお願いしたい。

戦略の柱Ⅲ地域社会への貢献、県民福祉の向上については、1計画期間を通して目標を超える環境保全活動等への助成を行うと共に助成団体数も増加しており、水環境保全を目的とした高次な水道水異臭対策工事等を行って、地域との共生を進めることができた。また、県の一般会計の繰出により、県の財政への貢献も行われている。今後は、例えば、工業用水の単価について、他県と比べて非常に低い単価で提供できているとが、全国平均の単価と比較して大分県企業局の単価が低く設定できているとすれば、その単価の差額に供給水量ないし契約水量を乗じた金額についても企業局の県政への貢献として捉えることができる。こういう観点から、さらに地域社会への貢献をアピールする余地があると考えられる。

電気も工業用水も、過去4年間の中でも非常にいい結果だった。長期の経営見通しを見ると、電気事業も工業用水事業も、今後、補修や設備更新等がかさみ、計画では、令和11年度に向けて内部留保が減少していく局面に入る。電気事業では20億、工業用水事業では15億程度まで減少していくことが予想されることから、気を引き締めていく必要があるため、よろしくお願いしたい。

【2】個別評価

大項目	内部評価	R3 外部評価			計画期間中 の総合評価	コメント			
		S	A	B					
小項目		I	II	III		「S」：項目全てがII以上で、かつIが70%以上 「A」：IIIが1項目以内 「B」：IIIが2項目以上 「I」：良好な実施状況にある 「II」：概ね年度計画通り実施している 「III」：計画までの実施ができなかった			
<b>戦略の柱Ⅰ：効率的・効果的な経営の実現</b>		S	(A)	B	A				
(1) 共通事項									
1 環境変化に対応できる組織運営・人材育成 【目標指標】 技術職員の資格取得件数 6件 経営状況説明会の開催 2回	(P1)	(I)	II	III	(I)	II	III	II	
2 IoT、AI等の活用による業務の 効率化・高度化	(P2)	(I)	II	III	(I)	II	III	I	
3 新規事業の展開に向けた研究 (再生可能エネルギーの導入拡大等)	(P3)	I	(II)	III	I	(II)	III	II	
4 コストダウン・業務改善に向けた取組 【目標指標】 建設改良費の削減率 5% アセットマネジメントの診断表更新回数 4回 業務改善等に資する取組の提案件数 10件	(P3)	(I)	II	III	(I)	II	III	II	
5 効果的な広報の実施 【目標指標】 施設見学の受入実績 10団体	(P4)	I	(II)	III	I	(II)	III	II	
(2) 電気事業									
1 電力システム改革に的確に対応すること による健全経営の維持 【目標指標】 電力供給先企業との意見交換 5回	(P5)	(I)	II	III	(I)	II	III	I	
(3) 工業用水道事業									
1 新規顧客開拓	(P6)	I	(II)	III	(I)	II	III	II	
2 顧客本位の取組 【目標指標】 ユーザー懇談会開催回数 1回 現地案内会開催回数 1回 ユーザー訪問数 20事業所	(P6)	I	(II)	III	(I)	II	III	I	

		内部評価	R3 外部評価			計画期間中 の総合評価	コメント		
<b>戦略の柱Ⅱ：安定的なサービスの提供</b>			S	Ⓐ	B	A			
(1) 共通事項									
2 危機管理体制の充実									
【目標指標】		(P9)	Ⓘ	Ⅱ	Ⅲ	Ⓘ	Ⅱ	Ⅲ	I
防災実動訓練	1回								
ダム管理演習	1回								
現場対応訓練	1回								
工水ユーザー企業との情報伝達訓練	1回								
相互応援協定に基づく情報伝達訓練	1回								
(2) 電気事業									
1 発電所リニューアルの推進									
【目標指標】 事業進捗率		(P10)	Ⓘ	Ⅱ	Ⅲ	Ⓘ	Ⅱ	Ⅲ	I
[大野川発電所]	100%								
[別府発電所]	20%								
2 地震対策の計画的実施									
【目標指標】		(P11)	Ⓘ	Ⅱ	Ⅲ	Ⓘ	Ⅱ	Ⅲ	I
既存施設（建物・水管橋）の耐震化率	95%								
既存施設（水路工作物）の耐震照査率	73%								
3 発電所のオーバーホール工事の実施									
なし		(P12)	I	Ⅱ	Ⅲ	I	Ⅱ	Ⅲ	Ⅱ
4 その他、経年施設の適切な修繕・改良工事等の実施									
【目標指標】		(P13)	I	Ⅱ	Ⅲ	I	Ⅱ	Ⅲ	Ⅱ
鉄塔改良工事実施件数累計	2件								
主要水路工作物修繕・改良工事（委託）実施件数	2件								
故障・作業停電電力量削減率	5%								
(3) 工業用水道事業									
1 給水ネットワークを用いた隧道点検及び補修									
【目標指標】		(P14)	Ⓘ	Ⅱ	Ⅲ	Ⓘ	Ⅱ	Ⅲ	I
隧道点検実施箇所数累計	4件								
2 地震（津波）対策の計画的実施									
【目標指標】		(P15)	Ⓘ	Ⅱ	Ⅲ	Ⓘ	Ⅱ	Ⅲ	I
既存施設の耐震化率	57%								
3 浄水場の老朽化対策、老朽化管路の更新									
【目標指標】		(P16)	Ⓘ	Ⅱ	Ⅲ	Ⓘ	Ⅱ	Ⅲ	I
埋設管路調査	60%								
電気防食装置設置	一件								
4 濁水・取水対策の実施									
【目標指標】		(P17)	I	Ⓙ	Ⅲ	I	Ⓙ	Ⅲ	Ⅱ
ユーザー要求量に対する給水率	100%								
給水条例基準濁度での供給	100%								
5 その他、経年施設の適切な修繕・改良工事等の実施									
【目標指標】		(P18)	I	Ⓙ	Ⅲ	I	Ⓙ	Ⅲ	Ⅱ
主要設備更新工事	1件								
主要設備更新設計業務委託	1件								
<b>戦略の柱Ⅲ：地域社会への貢献、県民福祉の向上</b>			S	A	B	S			
(1) 共通事項									
1 地域貢献									
【目標指標】		(P19)	I	Ⓙ	Ⅲ	Ⓘ	Ⅱ	Ⅲ	I
交流事業の回数	5回								
環境保全活動等への助成	5団体								
2 県政貢献									
		(P20)	Ⓘ	Ⅱ	Ⅲ	Ⓘ	Ⅱ	Ⅲ	I